

第 3 回コンクリート生産性向上検討協議会  
議事要旨

1. 開催日時：平成 28 年 9 月 28 日（水）16:00～18:00

2. 場所：中央合同庁舎 3 号館 11 階特別会議室

3. 議事

- ① コンクリート工の生産性向上に向けた取組方針について
- ② 前回までの主な議論
- ③ 施工の効率化に資する技術の効果の試算について
- ④ 建設生産プロセス全体で最適化を図る技術・工法の導入について
- ⑤ 品質規定の見直しについて
- ⑥ サプライチェーンマネジメントの導入について
- ⑦ 今後の予定について

主な議論の概要は以下の通り

- 生産性を高める技術の導入促進にあたっては、なるべく上流段階から検討することが効果的である。また、発注ロットの大きさやスケールメリットを踏まえた設計・積算のあり方について検討していただきたい。
- 品質向上によるライフサイクルコストの低減、工期短縮、安全性向上等の効果を考慮することが必要である。ただし、検討項目をあまり細かくすると負担がかかりすぎるおそれがあるので、バランスも考える必要もある。
- スランプの規定について、設計段階から構造・配筋を考慮して適切なスランプを設定する方法か、参考値としてスランプ値を設けて随時設計変更を実施していく方法がよいかは、実際の運用状況等も踏まえ検討していただきたい。
- サプライチェーンについて、発注段階からきめ細やかな情報提供を行い、関係者間で工事発注情報を共有することは、資材調達面で災害等非常時にも有益と考えられることから、促進していただきたい。併せて都道府県など地方公共団体へも発注見通しを適確に公開してもらうように働きかけることも重要。
- 本日は、主としてコンクリート工全体の底上げを図る観点から議論がなされたが、今後、生産性を大きく向上できる革新的な技術等をいかに導入していくか、ということも検討していただきたい。

以上